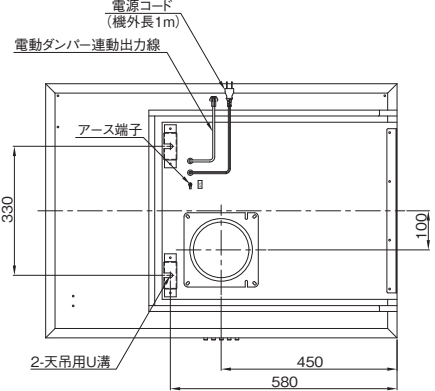


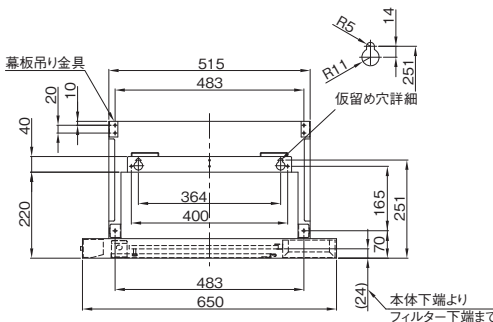
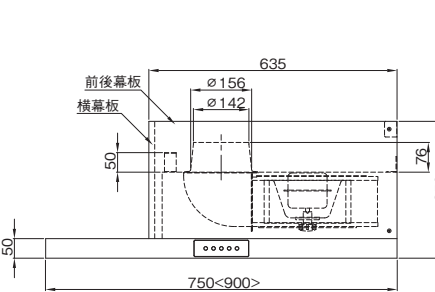
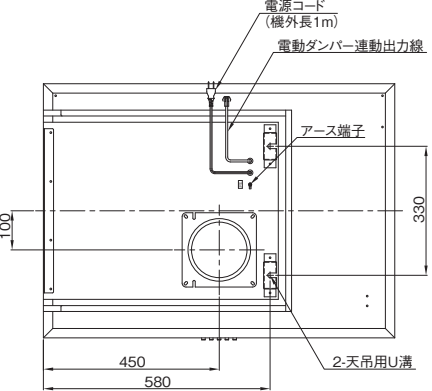
12 外観寸法図（取付寸法図）

浅型タイプ

右壁取付け

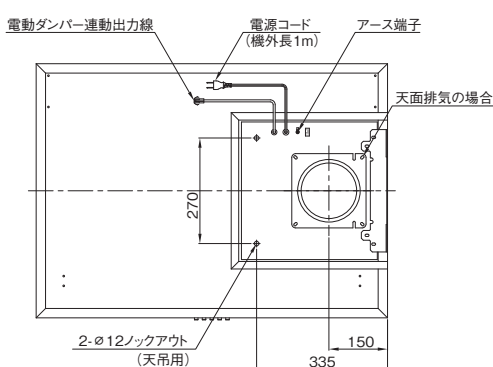


左壁取付け

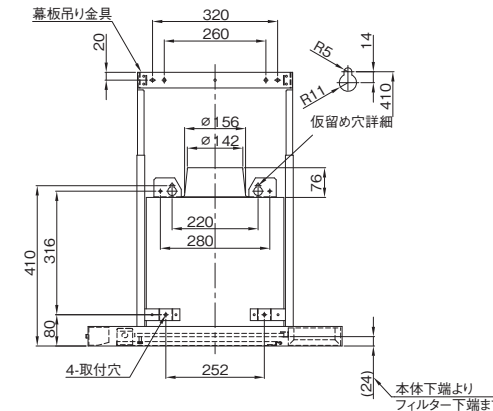
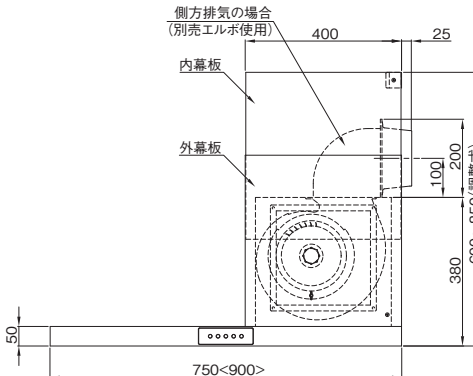
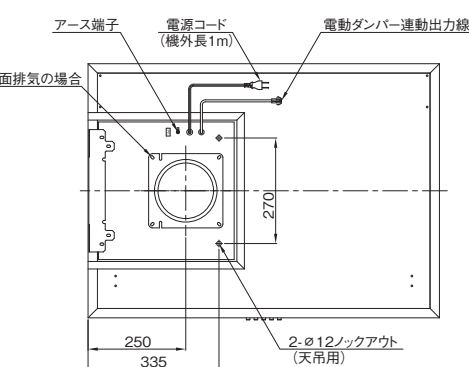


深型タイプ

右壁取付け



左壁取付け



※浅型・深型ともに、特注仕様の場合、各寸法が異なる場合があります。

13 電気配線



分解・修理・改造禁止



アースを取り付ける

- 修理技術者以外は、絶対に分解したり修理・改造しないこと
発火・感電したり、異常作動してけがをすることがあります。

- アースを確実に取り付けること
故障や漏電のときに感電することがあります。
アースの取り付けは販売店にご相談ください。

1. コンセントは125V・15Aのものを設置してください。
2. 必ずアース（D種接地）をしてください。
アース接地位置は「外観寸法図」を参照ください。
※アース線は取付・設置側にて手配してください。
3. 電源プラグをコンセントに差し込みます。



使用禁止



取付注意

- 交流100V以外では使用しないこと
火災・感電の原因になります。

- 配線の接続は、「電気設備技術基準」や「内線規定」に従って安全・確実に行うこと
誤った配線接続は感電や火災のおそれがあります。

14 試運転



注意



接触禁止

- 運転中は危険ですから羽根の中に指や物を入れないこと
けがをしたり、故障の原因となります。

- 1 本体の各操作スイッチを押し、運転状態を確認してください。スイッチの操作、運転状態等については取扱説明書をご覧ください。
- 2 運転時、各速調の排気が正しく行われていること。
- 3 屋外の排気出口から排気されていることを確認してください。
- 4 取付け又は設置上に発生した不具合で修理を依頼されますと全て有料となりますので十分確認してください。

15 お客様への説明

- 1 取扱説明書によって機器の取り扱いを説明してください。
- 2 取扱説明書と共に、この取付・設置説明書を必ずお客様へお渡しください。



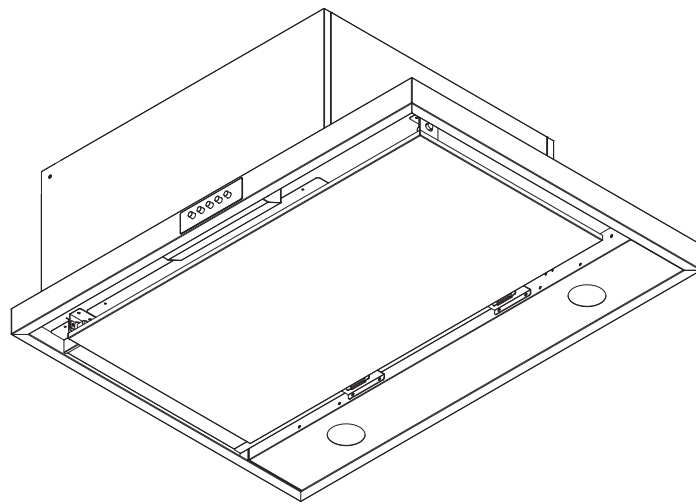
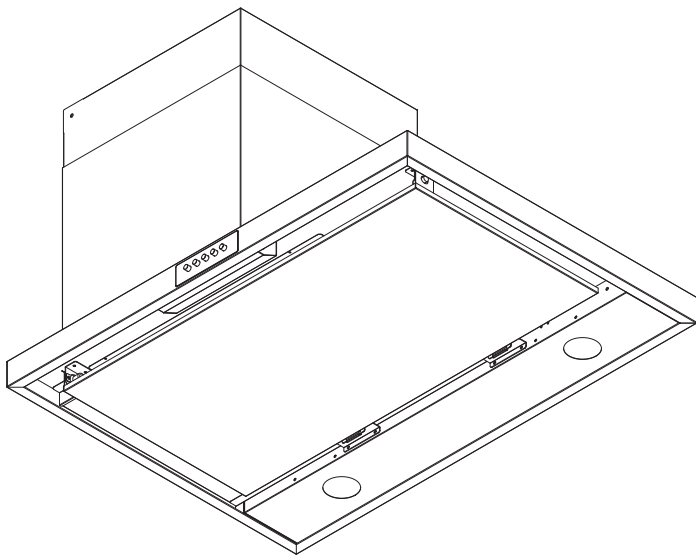
株式会社 渡辺製作所

〒104-0031 東京都中央区京橋1-6-11
カンケン京橋ビル5F

■東京支店 TEL (03) 3538-6690 FAX (03) 3538-6691

K4202350

取付・設置説明書
スリム型フード
(シロッコファン)



(WPS-S※※2)

安全のため必ずお守りください

安全に使用していただくための重要な項目ですので必ずお読みください。

- ここに示した事項は、安全に関する重大な内容の記載です。表示と意味は次のようになっています。
- ⚠ 警告 誤った取り扱いをしたときに、死亡や重傷等の重大な結果に結び付く可能性が大きいもの。
- ⚠ 注意 誤った取り扱いをしたときに、傷害を負う危険または物的損害に結び付く可能性があるもの。



- 取り付けの前に、この説明書をよくお読みのうえ、正しく取り付けを行ってください。
- ここに示した注意事項は、製品を安全に正しく取り付け、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

本文中に使われている図記号の意味は次のとおりです。

⊘	「禁止」事項
!	指示に従う
⚡	分解・修理・改造禁止
🚫	接触禁止
🔌	電源プラグを抜く
🚫	水場での使用禁止

警告



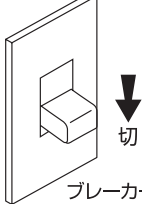
修理解析はしない



●修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理改造は行わないで下さい。
発火・感電したり、異常作動してけがをする恐れがあります。



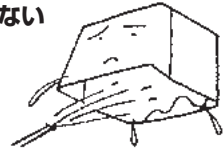
お手入れは「切」してから



●お手入れの際は、必ず電源プラグを抜く、または分電盤のブレーカーを切ってください。(分電盤のブレーカーを切る場合は、他機器の電源も切れるおそれがあります。)ぬれた手で触らないでください。感電や、けがの恐れがあります。



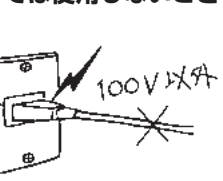
水・洗剤等の液体についたり、かけたりしない



●水・洗剤等の液体についたりかけたりしないでください。
ショート・感電や火災の恐れがあります。



交流100V以外では使用しないこと



●火災の原因になります。



ガスものときはスイッチを入れない



●ガスもの時は換気扇スイッチを入切しないでください。
ガス爆発の原因となります。



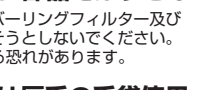
レンジフード本体と排気ダクトは、可燃物との距離を10cm以上離すか、不燃材料を使用して可燃物を覆う必要があります。

※詳しくは、所轄の消防署へ確認ください。

注意



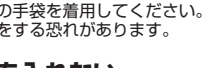
調理中や運転中に部品をはずさない



●調理中や運転中に、バーリングフィルター及び周辺の部品等をはずそうしないでください。
落下によりけがをする恐れがあります。



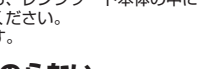
部品を扱うときは厚手の手袋使用



●部品を取りはずすときや、洗うときは必ず厚手の手袋を着用してください。
金属端面などでけがをする恐れがあります。



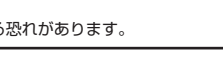
運転中は指や物を入れない



●運転中は危険ですから、レンジフード本体の中に指や物を入れないでください。
けがの恐れがあります。



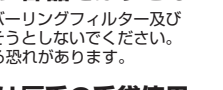
レンジフードにのらない



●レンジフードにのったり、ぶら下がることはやめてください。
落下によりけがをする恐れがあります。



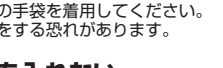
部品の取付けは確実に



●部品の取付けは確実に行ってください。
落下によりけがをする恐れがあります。



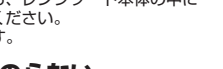
電源プラグは確実に差し込む



●電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。
火災の原因になります。



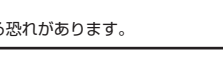
電源コードを傷めない



●電源プラグを抜くときは、電源コードを持って引き抜かないでください。
電源コードが断線し、火災の原因になります。



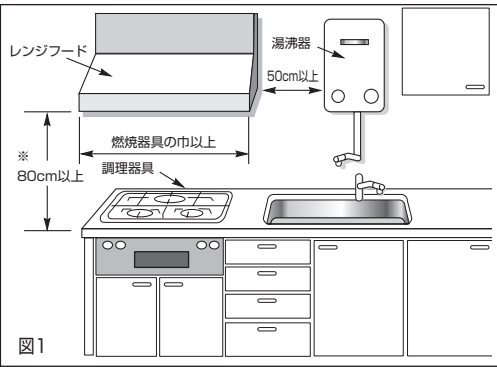
電源プラグのお手入れを



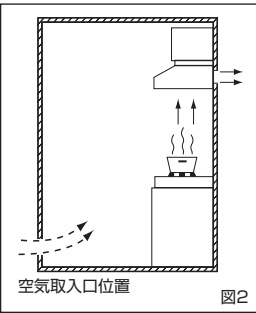
●定期的に電源プラグを抜き、電源プラグのほこり等を除去してください。
濡気などで絶縁不良になり、火災の原因になります。

お取付前の注意事項

- 1) 部屋全体の換気には他の換気扇(ダクト用換気扇、または一般用換気扇)を併用してください。(レンジフードは局所換気専用です)。
- 2) 取付・設置の際は厚手の手袋を使用してください。
- 3) 取付高さは標準80cmです。(但し、消防法により規制される場合がありますので注意してください)。
製品は調理器具の真上に取付け、取付高さは調理器具より80cm(※)の高さに取付けます。高すぎると排気効果が低下し、低すぎると台所での仕事のさまたげ



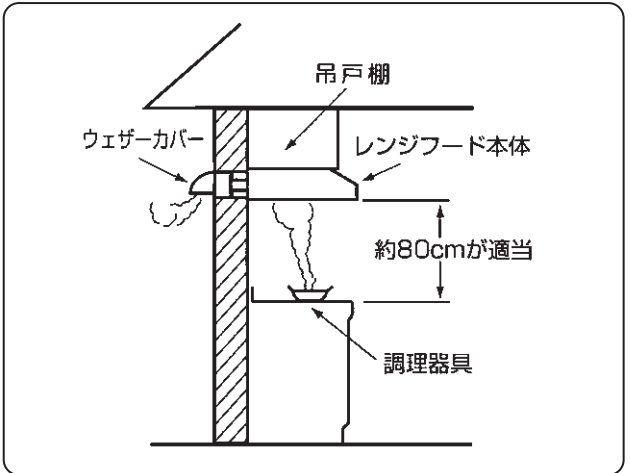
- 1) になったり、高熱による故障の原因になります。(図1)
- 2) (図1)
- 3) (図1)
- 4) 湯沸器の上部は高温になるので、湯沸器の真上には取付けしないでください。(図1)
- 5) ダクト排気するときはダクト抵抗の確認が必要です。密閉された部屋で使用する場合は、空気取入口を設けます。空気取入口の位置はレンジフードと反対側に設け、大きさは排気口の大きさ(□156mm)以上にしてください。(図2)
- 6) 取付面の強度をよく調べて取付けてください。
壁材が薄く弱いと振動音が発生することがあります。
- 7) 電源コードは傷つけないよう配線してください。
- 8) フード周辺のレイアウトは、各市町村の条例に従ってください。
- 9) 雨水の浸入や結露水の逆流防止の為、ダクト配管は屋外側に向けて下り勾配を設けてください(目安:1/100~1/50程度)。



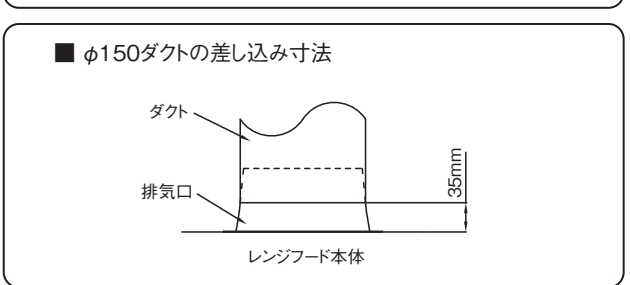
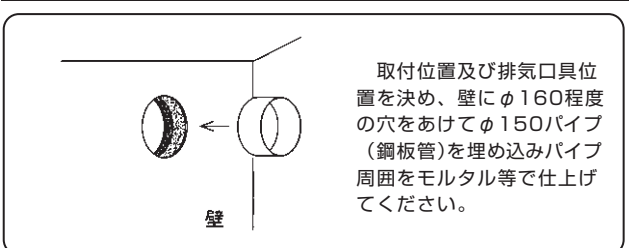
取付け方法

1 取付位置を決める

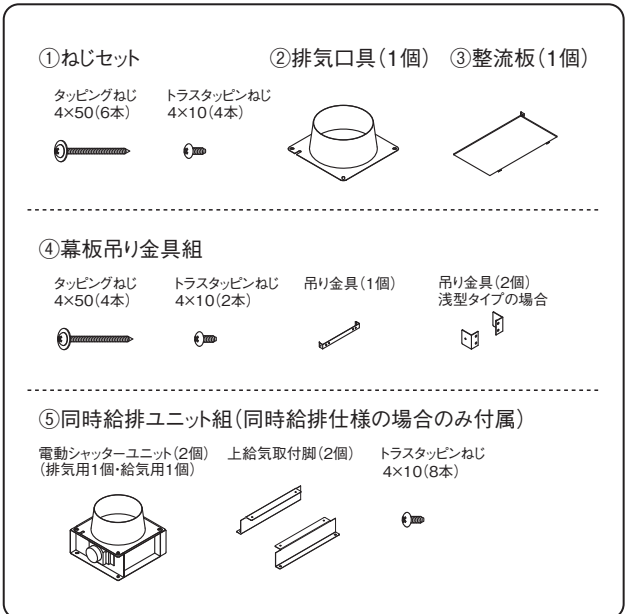
調理器具の真上 80cm 位の所に取付けてください。



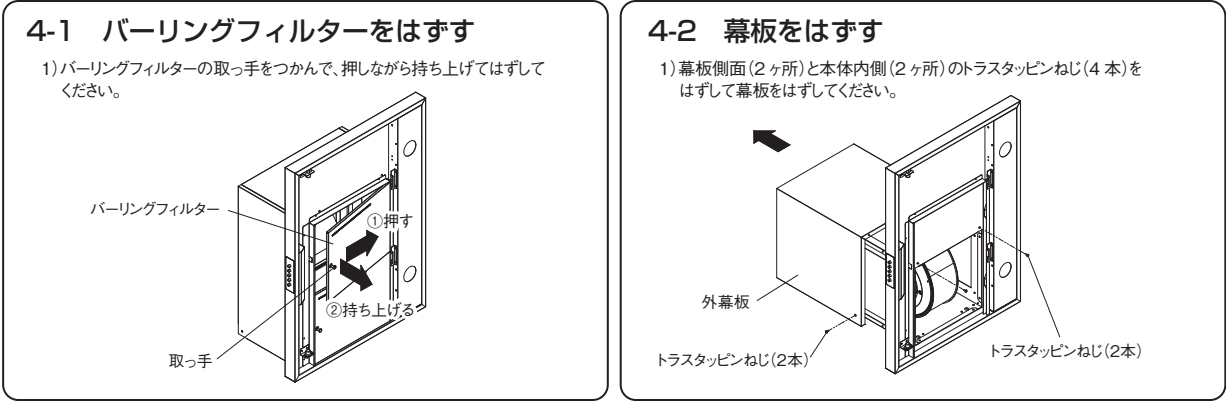
2 壁に穴をあけダクトを取付ける



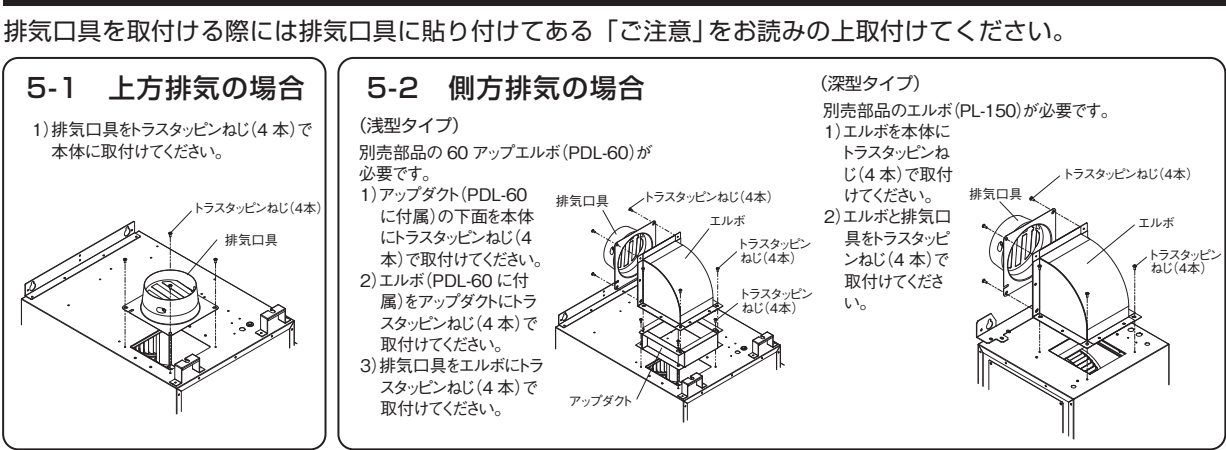
3 付属品を確認する



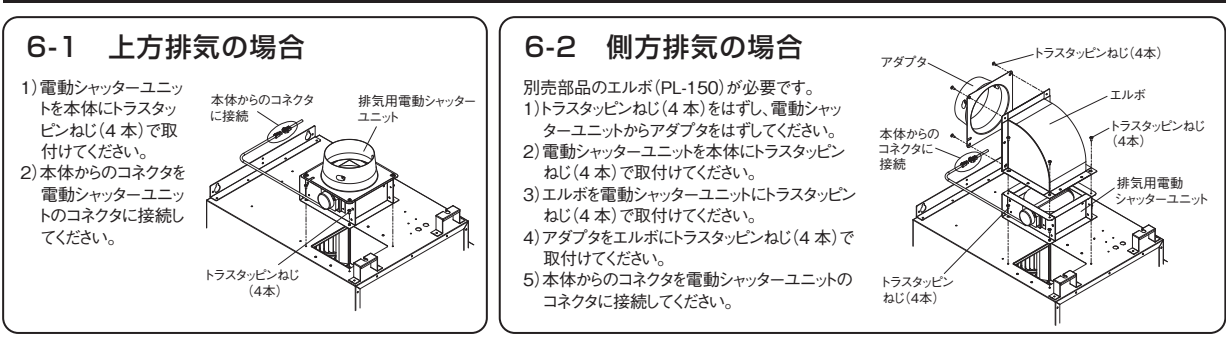
4 取付け前の準備をする



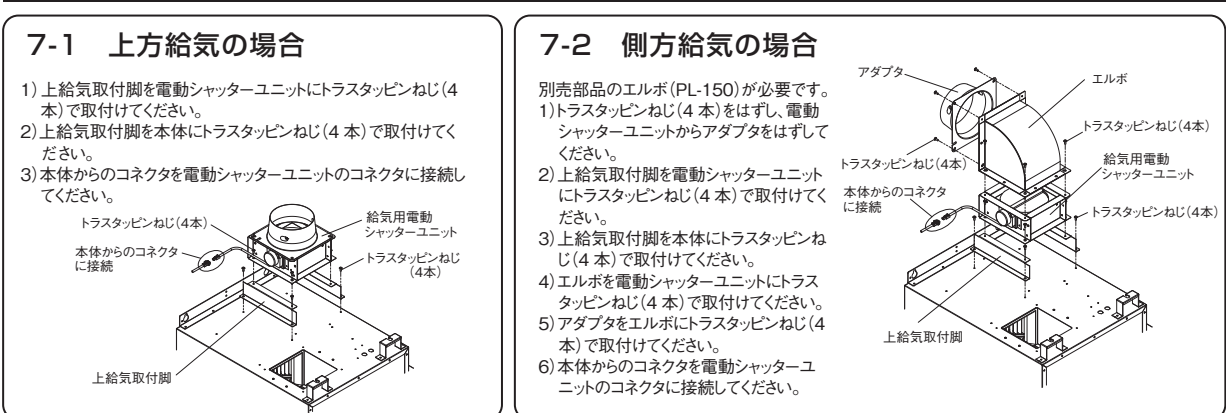
5 排気口具を取付ける



6 排気用電動シャッターユニットを取付ける



7 給気用電動シャッターユニットを取付ける (同時給排仕様の場合：浅型タイプのみ)



8 本体を取付ける

8-1 取付け面について

- 木質壁の場合は、取付け面の板厚は 20mm 以上。それ以下の場合には、壁に補強板を埋め込み補強を施してください。
- コンクリート、タイル壁の場合は、あらかじめ壁に補強板を埋め込んでおくか、カーブルラグ等を使用してください。

- 1) 外観寸法図を参考に仮止め穴用タッピングねじ(4×50)2本を壁面とのすき間 5mm まで締め込んでください。
- 2) 1)で取付けた仮止め穴用タッピングねじに本体を引っ掛けたあと、しっかり締め付けてください。
- 3) ほか 4ヶ所もタッピングねじ(4×50)でしっかり締め付けて固定してください。

8-2 天吊りを併用する場合

※浅型タイプは必ず天吊りしてください。

- 1) 外観寸法図を参考に吊りボルト(M10)を垂らしてください。
天吊り位置は浅型タイプと深型タイプで異なります。
- 2) 天吊り用ノックアウト(2ヶ所)を打ち抜いてください。(深型タイプのみ)
- 3) 吊りボルト(取付業者側手配)に M10 のナットとワッシャー(取付業者側手配)を差し込んでください。
- 4) 天吊り箇所に吊りボルトを差し込み、下側から M10 のワッシャーとナット(取付業者側手配)をしっかり締め付けてください。

浅型タイプ

深型タイプ

9 幕板を取付ける

浅型タイプ

深型タイプ

浅型タイプ

深型タイプ

11 整流板を取付ける